

提案名 : FAN×FUN OHYA

～グリーンツーリズムで大谷にファンを～

提案団体名	: 宇都宮共和大学 シティライフ学部 2年渡邊ゼミ
所属	: 宇都宮共和大学 シティライフ学部
メンバー	: ◎舩山晃廣, 樽井龍希, 小林勇貴, 岡田萌那, 長嶋怜奈, 田中悠太郎, 須藤新大, ツウシンバータル・ブルガナー
指導教員	: 渡邊瑛季

【提案の要旨】

宇都宮市有数の観光スポットである大谷町の新たな観光資源をつくるため、本提案では、大谷町の豊かな自然や農業を武器にして「食と観光を組み合わせた大谷町ならではのグリーンツーリズム」を開発し、新たな観光資源として確立させ、大谷町のファンをつくることを提案する。

大谷町ならではの食や農業について知る機会としてグリーンツーリズムを行うことで、それに参加した人たちが大谷町の「FAN」となり、そこで得た楽しさや学びの面白さが伝播し、新たな魅力をもった「FUN」な大谷町へとつなげていくことが本提案の目標である。

この目標を達成するため、私たちは大谷グリーン・ツーリズム推進協議会の協力のもと、7月から週1回程度のペースで大谷町の農家を訪問して観光資源を見つけ、食と観光を組み合わせたツアーを計画し、またその準備をしてきた。このツアーを12月3日に開催する。

「大谷町ならではのグリーンツーリズム」を大谷町の新たな観光資源のひとつとして確立させ、大谷町の新たなファンづくりを目指したい。

FAN✕FUN OHYA

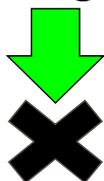
～グリーンツーリズムで大谷にファンを～

宇都宮共和大学シティライフ学部
2年渡邊ゼミ

経緯

- ・ 当ゼミでは現代のツーリズムについて研究している。
- ・ 現在グリーンツーリズムの多くは農作物の収穫が観光の主であり、それ以外の体験がほとんどできない。
- ・ 現代は食や農業への理解が不足し、食育も求められている。

食・食育



観光

経緯

宇都宮の観光地といえば...



大谷町！

宇都宮市の観光の課題

- ・ SNSの活用等、時代の変化に応じた情報発信が不足している
- ・ 産業、農業、観光を組み合わせるなどした体験型観光が不足している
- ・ MICEの誘致活動が弱い
- ・ 広域連携による周遊コースの開発などが不足している
(「第2次宇都宮市観光振興プラン」
(H30より))

これまでの活動

6月

- 高橋佑知商店の視察

7月

- 半田貴也さんとの出会い

8月

- 毎週1、2回半田農園での農作業

9月～

11月

- 半田農園での農作業
- 12月3日のツアー内容確定

12月

- 留学生に向けてツアーを開催



12月3日に開催したツアー詳細

対象者：宇都宮共和国留学生

中国人6名、ベトナム人12名

その他2名 計20名

時間：10時～12時30分

計2時間30分

実施内容：① 野菜の収穫

② 大谷石の窯でピザ作り

③ 餅つき体験



ツアー参加者に対する狙い

1. 大谷町のFANになってほしい
2. 食・農業に関心を持ってほしい
3. 大谷町の魅力を世界中に発信してほしい
4. 大谷町を楽しんでほしい（FUN）

12月3日に開催したツアー

春菊が
とれたよ！



餅つき体験の様子

12月3日に開催したツアー



← 大谷石の説明の様子

ブロッコリー
取れたよ～！



12月3日に開催したツアー



← 大谷石のピザ窯

お餅美味しい！



ツアーを終えて

- ・ スケジュール管理が不十分であった
- ・ 準備段階での確認が不十分であった

ツアーを実行した
からこそ次に活か
せる良い機会にな
った！

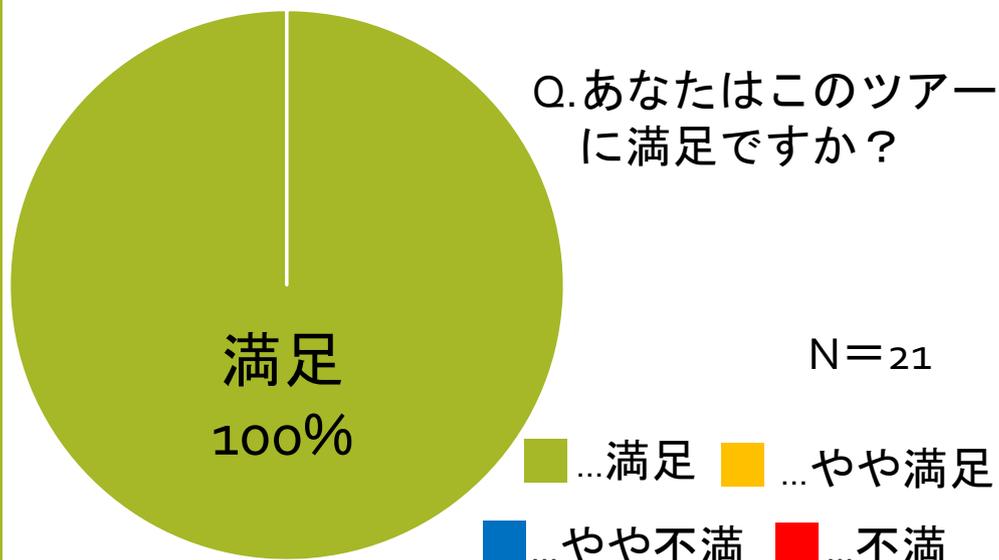


ツアー参加者の感想

- ・ 大谷のいろんな所に行ってみたい
(ベトナム人 男女)
- ・ よく食べる野菜を収穫できて嬉しかった
(中国人 男性)



ツアー参加者へのアンケート



今後の予定

- ☆ 宇都宮市の企業と連携し、ツアーを検討
- ☆ 大谷町の空き家を利用したツーリズムを検討
- ☆ 半田農園での活動を継続し、新しいツーリズム実施に向けての学習を続ける
- ☆ 12月3日に開催されたツアーでのアンケートを分析し、ツアーによる効果を検証する

あなたは大谷町の
ファンになりましたか？

YES

NO